（ファシリテーター向けの資料）

グループワークの進め方

　今回の研修会では，講義を聴くだけでなく，グループワークにより，今後，どう取り組むかを具体的に議論してもらうことをねらっています。

　グループワークでは，テーマについての話題提供（各テーマについて15～20分程度）を踏まえて，今後，どう取り組むか，それは何のためかを話し合うこと（約30分間）により，参加者が互いに刺激し合い，具体的な次の一歩につながる議論ができればと考えています。

　ファシリテーターの皆様は，司会進行をお願いします。鍵となる発言を復唱したりしながら，建設的な議論ができるように，サポートをお願いします。

　具体的にどう取り組むかという方法論の議論も重要ですが，何のために取り組むのか，原点に立ち返ることも重要です。あまりに細かな方法論の議論になりかけた際には，「そうするのは，何のため？」と問いかけて，目的を再確認させるようにしてください。

　（テーマは，あくまで例示であり，６つのテーマから２～３を選んで実施します）

ＧＷ１「ＰＤＣＡサイクルに基づく住民組織との協働」　「住民組織との協働におけるそれぞれの役割」

**ＧＷにおける投げかけ**

　　　住民組織と協働するのは何のため？

**ＧＷの論点**（話し合いの中で，議論してほしいポイント）　※ 論点に誘導する必要はない

　　　活動によってめざす地域の姿を確認すること

　　　組織構成員のエンパワメントの視点

ＧＷ２「職域をベースとしたソーシャル・キャピタルの醸成・活用」

**ＧＷにおける投げかけ**

　　　「職域をベースとしたソーシャル・キャピタルの醸成・活用は何のため？
　　　　それを実現するために，どう取り組むのか？」

**ＧＷの論点**（話し合いの中で，議論してほしいポイント）

　　　企業と行政のWin-Winの関係をどう構築するか　　企業にとってのメリットは？

　　　企業とかかわりが深い行政の他部局との連携

　　　職域の関係者と顔の見える関係を構築するにはどうするか？

事例検討の進め方

　　事例の前半の報告（「起承」の部分）を聞いて，自分が担当者だったら，どのように考えて，

　　どう行動するかを話し合ってもらいます。

　　　　例：住民主体で健康づくりや介護予防を進めるのは何のためか？

　　　　　　どうしたら，住民主体で活動を展開することができるか？

**ＧＷの論点**（話し合いの中で，議論してほしいポイント）

　　　めざす姿の確認，地域の課題の共有，住民リーダーのエンパワメント